

令和4年度 第一中学校区地域包括支援センター事業実施計画書

資料4-1

	実施方針	目標	具体的な取り組み
必須項目	高齢者を地域で支える体制づくり	地域住民が主体的に介護予防に取り組めるよう支援します。	しまとしゃ居場所を実施していない地域での紹介・新設や、既存の地域活動の継続を支援していく。
		多死社会を迎える中でどう生きるかを考える機会が持てるよう支援します。	もしバナゲームの体験を通して、人生の最期に大切にしたいこと、思いを知る機会を持つ。
		高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための体制を整えます。	個別課題解決や地域課題について地域ケア会議を開催する。 個別地域ケア会議 テーマ：①多重課題世帯支援 ②介護者支援・離職防止 ③高齢者の住まい 小地域ケア会議 テーマ：①多職種連携体制 ②介護者支援 ③地域資源について
必須項目	認知症施策の推進	若い世代や職域サポーターを養成する。	認知症サポーター養成講座の開催：5回（小中学校、放課後児童クラブ、ネットワーク参加事業所）
		認知症になっても、最後まで住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを目指します。	認知症の人が安全に外出できる地域の見守り体制づくりや、ICTを活用した検索システムの普及を図る。
		認知症の人やその家族の社会参加を支援していく。	認知症サポーター養成講座の開催：5回（小中学校、放課後児童クラブ、ネットワーク参加事業所） ・検索模擬訓練の実施：年1回（稲荷町自治会） 参加者：自治会・地域住民・行政・民生委員・ケアマネ等 ・みまもりあいアプリの講話の開催：年1回（ネットワーク参加事業所）
選択項目	多職種、多機関とのネットワーク構築	地域の企業に地域課題を発信し、高齢者の見守り体制の強化を図る。	第一地区高齢者見守りあんしんネットワーク通信の配布：年2回（5・10月） 配布先：ネットワーク参加事業所
		医療・ケアを提供する専門職の会を定期的で開催する。	ケアカフェ：年4回（5・8・11・2月） 内容：企画は当番制。 参加者：医師、薬剤師、ケアマネ、介護事業所、医療介護連携室、行政等
		家族介護者が相談しやすい体制づくりを行う。	出張相談会：年3回（旧北中学校区）
選択項目	家族介護者の負担軽減・離職防止に向けた取り組み	安心して在宅介護が継続できるように支援していきます。	介護離職についての実態を把握し、防止に向けた働きかけを行う。
			出張相談会：年3回（旧北中学校区） ・介護離職に関するアンケートを配布・集計。 配布先：ネットワーク参加事業所 ・企業を対象とした介護勉強会の開催：年1回